

# テニスバット

--- Tennis bat

## ●概要

テニスバットはベーコンを切る西洋まな板（角の丸い盆状の板に柄がついている型）で、テニスボールを打ち合っただけが始まりです。キッチン用具を利用した遊びから、スポーツに発展した点に興味深いものがあります。

テニスバットも始めの頃は、「コートにこだわらず、気軽にテニスを」という発想で楽しまれていました。その後 1970 年には、ドイツスポーツ連盟の公認スポーツとなり、専用の用具を使うようになりました。

木製のバットで硬式のテニスボールを打ち合うため、テニスコートよりずっと狭いスペースで行うことができます。また、テニスラケットの 3 分の 1 ぐらいの大きさなので、初心者でも容易に楽しめます。“ビーチバット”ともいいます。

## ●用具

### 1) テニスバット

木製。全長 33 cm、打球面の長さ 22 cm、幅 21 cm、重さ 350 g。西洋のまな板は、取っ手がついているので、

そのまま利用できる。合板で自作もできる。

### 2) ボール

硬式テニスのボール、またはスポンジボール。

## ●競技方法

- ・ シングルス、またはダブルスで行う。
- ・ イースタングリップで握り、ラケットの両面を使う。安全のため、ヒモを手首に巻く。
- ・ 1 ゲームは 4 点先取。3 対 3 のときは、それからさらに 2 点連取したチームが 1 ゲーム勝ち。
- ・ 1 セットは 6 ゲーム先取で、5 対 5 のときは、2 ゲーム先取した方が 1 セット勝ち。
- ・ 3 セットマッチ（2 セット先取）か、5 セットマッチ（3 セット先取）で行う。
- ・ サービスは 1 回だけで、アンダーハンド・サービスで行う。
- ・ サーバーは、右コート・左コート交互に立ち、対角のサービスコート内に入れる。
- ・ ネットに触れて、相手側サービスコートに入った場合は、再びサービスを行う。